

団体名

一般社団法人

あしおトロッコ館

〒321-1523 栃木県日光市足尾町松原 2825
(古河足尾歴史館内とわたらせ渓谷鐵道足尾駅貨物ホーム周辺)
URL : <https://www.furukawakk.co.jp/ashio>
E-mail : ashiotoro@gmail.com
担当者：総務担当 岡本憲之



▲鉄道考古学的遺産である旧日本陸軍鉄道連隊の境界杭。御影石が使われています。一番左の1本は下部が欠けているものです。



▲足尾駅で保存されている元古河鉱業の濃硫酸専用タンク車タキ 29312



▲足尾駅で保存されている車両達のうち、キハ 35-70 はツアーなど含めて定期的な車内公開も再開しました。



▲いちばん左があしおトロッコ館の主役である足尾銅山のガソリンカー(動態運転)軌間 610mm と、中央は井笠鐵道ドイツ・コッペル社製7号蒸気機関車(静態保存機)軌間 762mm。一番右が、大分鉱業からやってきた日立製作所製 8t 電気機関車と古河鉱業足尾製作所小山工場製のグランビー鉱車 2 両(静態保存)軌間 762mm

少し不思議な鉄道の博物館を目指し活動しております、一般社団法人あしおトロッコ館は、古河足尾歴史館の野外と2階室内展示場とわたらせ渓谷鐵道足尾駅貨物ホーム構内の2か所で活動しています。いずれも古河機械金属・わたらせ渓谷鐵道・日光市・足尾町民各位の深いご理解と協力のもと、保存活動を続けています。

【一般社団法人 あしおトロッコ館の活動状況】

その1 古河足尾歴史館 野外

足尾ガソリン軌道歴史館線とトロッコ展示場

●毎月第一土・日のガソリンカー運行のほか KATO のディーゼル機関車トロッコ列車も運行

その2 古河足尾歴史館 2階

あしおトロッコ館室内展示場

●古河足尾歴史館開館日は公開。

その3 わたらせ渓谷鐵道 足尾駅

動態保存車両(軌間 1067mm)

●わたらせ渓谷鐵道や東武トップツアーなどの団体見学のほかに、一般公開も今年から再開しました。

最新情報

鐵道連隊の境界杭を寄贈頂きました

新京成電鉄様から同社保管のみごとな御影石で造られた旧日本陸軍「鐵道連隊境界杭」を5本、あしおトロッコ館へと寄贈頂きました。これからどう展示するか検討しています。標準軌と軌間 600mm の演習線沿いに大正初期に造られたもので、後にこの線路跡が新京成電鉄となっています。

大分鉱業より電気機関車等寄贈頂きました

九州は大分県の津久見にある優良石灰石鉱山である大分鉱業。そこで鉱石を運んでいた旧上部運搬線で活躍していた軌間 762mm の日立製作所製 8 t 電気機関車と古河鉱業足尾製作所小山工場製のグランビー鉱車 2 両を寄贈頂きました。この保存活動には古河機械金属様の全面支援によるもので、野外展示場にて静態保存するはこびとなりました。